

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	体育	単位数	3単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	なし		副教材等		なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。</li> <li>・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</li> <li>・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</li> </ul>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	体づくり運動	・心と体の関係に気づき、仲間と交流する。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わりを理解できる。</li> <li>・ねらいや体力の程度を踏まえ自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。</li> <li>・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	授業態度 学習カード
	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。</li> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えること。</li> <li>・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	
5	器械体操 陸上競技（競走・跳躍・投擲） ダンスから選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（器械体操）技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい演技する。</li> <li>・（陸上競技）記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につける。</li> <li>・（ダンス）感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊り方を身につけて交流や発表する。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（器械体操）技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。</li> <li>・（ダンス）感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法を理解できる。</li> <li>・（陸上競技）記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解できる。</li> </ul>		
6							
7							
8							
				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（器械体操）技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。</li> <li>・（陸上競技）動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動のk取り組み方を工夫できる。</li> <li>・（ダンス）表現などの自己や仲間の課題を発見</li> </ul>		

						し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。	
					○	・(器械体操・陸上競技・ダンス) 自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。	
9	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・現代のスポーツは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解できる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	
9 10 11 12	球技・武道から選択 球技(ゴール型・ネット型 ベースボール型) 武道(剣道・柔道)	・(球技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・(武道) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、得意技などを用いた攻防を展開する。	○			・(球技) 各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たない時の動きに大別できることが理解できる。 ・(武道) 武道を学習することは自国の文化に誇りを持つことや国際社会で生きていく上で有意義であることを理解することができる。 ・(球技) ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為について自己を振り返ることができる。 ・(武道) 見取り稽古などから合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・(球技) 主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする。ことができる。 ・(武道) 自主的に取り組むとともに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にすることができる。	授業態度 学習カード
12 1	陸上競技(長距離走)	・記録の向上や競争を通して得られる楽しさや喜びに加えて、体力や技能の程度等に関わらず「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わう。	○			・リズムカルに腕を振り力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・勝敗などを冷静に受け止めルールやマナーを大切にすることができる。	
2	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方を理解できる。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会にもたらす影響について理解できる。 ・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 学習カード
2 3	体づくり運動	・健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画たて、取り組む。	○			・リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して気づいたり関わりを理解することができる。 ・健康や安全を確保するために体力や体調に応じた運動の計画等について振り返ることができる。 ・一人一人の違いを大切に、健康・安全を確保することができる。	